

その他の林業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	13～ 14	間伐作業中に玉掛け作業をしていたところ、重ねたヒノキ材が広がりはじめて足を挟まれそうになり、右方向へ急いで逃げたが、ゆるやかな坂の中央部に出ていた古い切り株に右足がとられ、下に積み込まれたヒノキの枝の山に倒れ込むように当たってしまい、右脇腹を強打した。	52	10 ～ 29
2	10～11	整備事業の現場で、間伐目的で余分な木を鋸で切断したところ、その木がすんなりと倒れなかったため、隣の松の木を背もたれにして、切った木を足で蹴った時、足が木の表面を滑ったため体のバランスを崩してしまい、自分が倒れた際に左足首付近を捻挫、靭帯損傷に至った。	41	10 ～ 29
3	14～15	林内にて集材機（ウインチ）の横で玉掛けワイヤー作りの作業中、追加ワイヤーを取りに道路へ出ようとした時、集材機固定用ワイヤーに左足を取られて転倒し、左足の膝を路肩（コンクリート）で強打した。	65	1 ～ 9
6	13～ 14	トドマツ植林地の下刈作業現場で下刈作業中、傾斜地で右足が滑り、その際に左足ひざを地面に打ちつけ打撲を負った。	65	10 ～ 29
6	15～ 16	作業道補修が終わり、重機のオイル交換をしようとしてオイル缶を持ち運んでいる途中、ゆるやかな傾斜地で足を滑らせ転倒し、コンボのキャタピラに左肩と後頭部をぶつけ負傷した。	66	30 ～ 49
6	15～ 16	山林にて調査・選木作業を行っていたところ、現場が急傾斜で足元にも下草が茂っており、足を踏み外し、滑った際に右手を強くついてしまった。	44	10 ～ 29

7	10～ 11	伐倒作業中、次の伐倒木に移動中に、藪の中にハチの巣があるのに気付かず、近くを通った時に腕を刺された。驚いて咄嗟に斜面の低い方に逃げ出したとき、勢いづいて転げ、右肩を強打した。	50 ～ 49	30 ～ 49
11	11～ 12	山林の草刈をしていた際に、傾斜部分であった為、バランスを崩し、肘から前のめりで倒れ、胸から肩（左鎖骨部分）を強打した。その日は、そのまま作業を続けたが、痛みが治まらない為、後日、病院で診察を受け、左鎖骨を骨折、骨のずれがあった為、手術をした。	26 ～ 9	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html